

林業福島

No. **558**

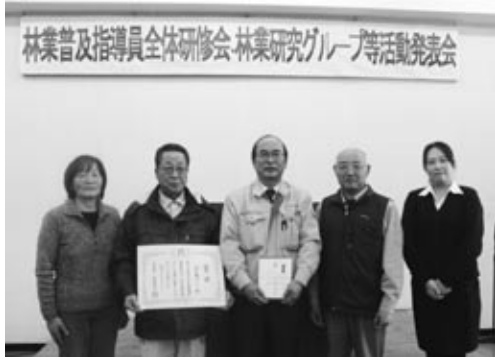
題字 福島県知事 佐藤雄平



2

2011

かんしゅう■福島県農林水産部
表紙の写真■炭焼きに生きる



一県林業研究グループ等活動発表会一

県知事賞を受賞して

里の森みらい リーダー

薄井 充良

平成二三年二月三日、県林業研究センターで開催された県林業研究グループ等活動発表会において、福島県知事賞を受賞いたしました。思いもよらない受賞にびっくりするやら感激するやらで大変でした。今までご指導いただいた皆様からも祝福を賜り、メンバー一同決意を新たにしているところであります。

私たち「里の森みらい」は、平成一八年四月に森林環境税が導入され、県民参画による新たな森林づくりが提唱されたことから、林業を再就職先の一つと考え、工場勤務経験者などに呼び掛けを行い、これらの方々が集まり設立したものです。

平成一九年四月須賀川市袋田地区に、杉と広葉樹からなる里山五、〇〇〇坪を借り受け、林床整備、間伐、林内整備を行い、その林床を活用して「自然栽培キノコ」「山菜」「山野草」などの生産を開始いたしました。この背景には、当時の須賀川地方での企業の撤退、合理化によるリストラ、倒産などが相次ぎ失業者が大量に発生したこと、さらに、団塊の世代の大量定年退職の到来など、再就職が大変厳しい状況にあったことが挙げられます。

当初は、健康に良いとされるキノコや山菜を中心に栽培し、現在は、これらの他に県オリジナル品種を大量に栽培して販売を推進しております。昨年から財団法人福島県きのご振興センターのご指導の下、首都圏の高級スーパーやレストランにも納入できるようになり、さらなる販路拡大を目指しております。

今回の受賞にあたっては、県中農林事務所の皆様のご援助のお陰と深く感謝いたしております。また、これまでの間、下郷町の渡部善一様、財団法人きのご振興センターはじめ、多くの関係者の皆様のご指導ご協力に對しまして心から感謝申し上げます。

今後は、本賞を契機といたしまして里山整備の拡大、生産品の拡大、各団体との交流促進などに積極的な取り組みを展開していきたいと考えておりますと共に、地域の皆様と一緒に、環境を大切にしながら歩んで参りたいと思っております。

東北・北海道ブロック林業グループコンクールへ参加することとなりましたが、再度内容の見直しを行い、精一杯発表してきたと思っております。今後とも、皆様のご指導ご協力をお願いしましてお礼とさせていただきます。

《も く じ》

とびら	
県林業研究グループ等活動発表会	
県知事賞を受賞して	
里の森みらい 薄井 充良	1
山火事を防止しよう	
～その油断 緑の森を 火の海に～	2
県林業研究グループ等活動発表会開催	3～4
林業労働力確保支援センターだより	
未来に向けた夢のある林業の創造へ	5～6

平成22年度林業普及指導員	
全体研修会開かれる	7
山村を支える林道事業	8
木材市況・ふくしま東西南北	9
普及指導員通信	10
木連だより	11
福島水源林整備事務所だより	12
はなしのひろば	13

山火事を防止しよう

その油断 緑の森を 火の海に

県森林整備課

○山火事の発生状況

冬から春にかけては空気が乾燥し、季節風も強いいため火災が発生しやすい気象条件となっています。また、春先は暖かくなってくるため、行楽や山菜採りなどで山に入る人が増えるほか、農作業等で火入れを行うなど山に近い場所で火を使う機会が増えます。

このため、一年のうちで二月から発生件数が増え始め、その後、五月にかけて山火事の発生が集中します。平成二二年は県内で約一〇〇件（前年約七〇件）の山火事が発生しましたが、その約八割がこの時期に

集中しています。

○山火事の原因

平成二二年の山火事の原因は、「たき火」によるものが最も多く、次いで「放火の疑い」「たばこ」「火入れによる延焼」の順になっており、人為的な原因による割合が約九〇割を占めています。山火事は人為的な活動が原因となって発生しているといっても過言ではありません。このことは、私たちが注意すれば、山火事の多くを防ぐことができるということでもあります。

○山火事による損失

山火事による損失は様々なものに

及びます。森林を所有する方の財産が失われるだけでなく、私達の生活環境を維持するうえで大切な水源かん養機能などの森林のもつ様々な機能も失うこととなります。

燃えてしまった森林をもとの姿に戻すためには、多額の費用と多くの人手、そして長い時間を要します。このため、普段からの予防対策により山火事を出さないことが重要となります。

○山火事の消火方法

山火事の消火活動は、市街地の火災に比べ、道路、水利、地形などの条件から非常に困難であるため、自力での消火は大変危険です。

山火事が発生した場合や、山火事を発見したときは、すぐに消防署等へ通報するようお願いいたします。

○福島県での山火事予防運動

このように大きな損失を伴う山火事を防ぐため、福島県では市町村、

森林管理署、消防本部等の関係機関と連携して、「山火事予防運動」を実施しています。自治体広報誌やテレビ・ラジオ、各農林事務所での山火事予防の働きかけなどを通じて県民の皆さんに山火事予防についてお知らせしています。

○おわりに

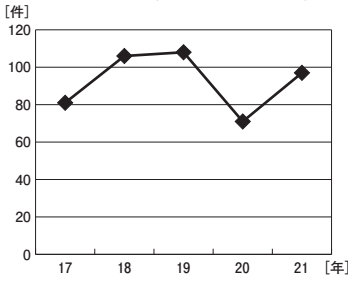
大きな被害を引き起こす山火事を予防するため、森林のなかでは火を使わないようにお願いします。また、やむを得ず森林のそばで火を使う場合には、つぎのことに注意して下さい。

- 1 枯れ草などの燃えやすいものがある場所では、たき火をしない。
- 2 たき火をする時には水を留意し、火から離れる際には完全に消火する。
- 3 乾燥時や強風時には、たき火や火入れをしない。
- 4 火入れを行う場合は、必ず許可を受ける。
- 5 タバコは指定された場所で喫煙し、吸いがらは必ず消火する。吸いがらは投げ捨てない。
- 6 火遊びはしない。

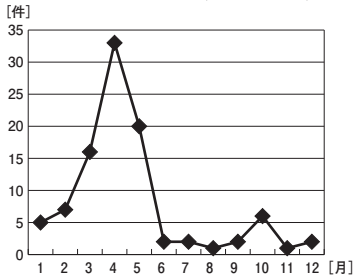
山火事の大部分は、私達一人ひとりの注意で防ぐことができます。福島県の緑豊かな森林を山火事から守るため、皆さんのご協力をお願いします。

林野火災関係図表

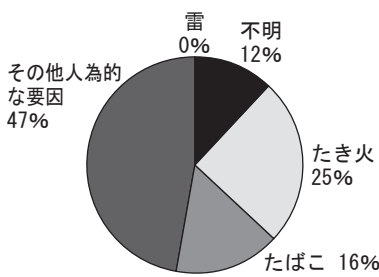
発生件数（平成17～21年）



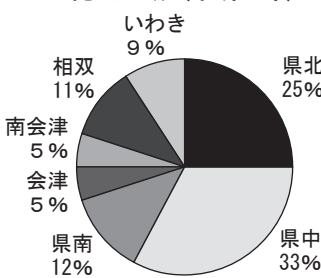
月別発生件数（平成21年）



出火原因（平成21年）



発生地域（平成21年）





各グループの活動発表の様子

県林業研究グループ等 活動発表会開催!!

平成二二年度林業研究グループ等活動発表会が、二月三日、郡山市の林業研究センター研修本館で行われ、県内各地の林業グループなどから約一〇〇名が参加しました。

この発表会は、県内各地で自主的に森林・地域づくりなどの取り組みを行っているグループ等の活動を促進し、更なる向上を図ることを目的に毎年開催されています。

農林事務所、林業指導所の各地区からの代表八グループが、持ち時間一五分で発表を行いました。

地元の山を愛し、次世代に自然の大切さを伝えること、きのこや山菜の生産販売、育樹・植樹などの森林活動による異世代間交流、特産物の普及などさまざまな活動内容でした。

審査には、堀江隼人県林業振興課長、渡辺卓治県林業協会専務理事、蛭田一県林研グループ連絡協議会長、荒畑保県林業研究センター所長があたりました。

またこの日は、いわき市の(有)平子商店の平子作麿氏による「雇用と安全に係る取り組み」と題した講演、県中農林事務所 笠原航主査による「提案型集約化施業研修報告」も行われました。

その後、堀江課長が講評を述べ、審査結果が発表されました。

最優秀賞の県知事賞には、里の森みらいが選ばれ、相馬雅俊県農林水



熱心に聞く参加者の皆さん

産部次長から賞状と楯が贈られました。審査結果は以下の通りです。

県知事賞

里の森みらい

県林業協会会長賞

西会津町菌床生産組合

県林研グループ連絡協議会長賞

女神山を愛する会

県南、「木もれび倶楽部」

藤生わらび生産組合

こだわり山の幸研究会山ゆり部会

双葉地方森林組合ボランティアの会「森泉組」

NPO法人いわきの森に親しむ会

なお、県知事賞を受賞した里の森みらいは、東北・北海道ブロック林業グループコンクールで福島県代表として発表します。

各グループの発表内容は次の通りです。

里山への思い「女神山を愛する会」の取り組み

女神山を愛する会 氏家 武

女神山とその周辺の自然保護と保全活動を通して、地域の活性化を図ることを目的として、ふれあい登山(山開き)の開催や自然体験活動、環境学習、親子自然観察会などを行い、豊かな自然を次の世代に残そうと活動を行っている。登山道の案内標識の整備、植生調査・盗掘防止、希少植物紹介など会員が自分ができることから行っている。

里山再生と林床活用の取り組み

里の森みらい 薄井 充良

平成一九年四月、リストラなどの離職、団塊の世代の大量定年退職期などが背景に重なり、森林環境税の導入もあり、新たな就職先として設立。須賀川市のスギと広葉樹からなる里山五、〇〇坪を借り受け、林床整備・間伐・林内道路の整備を行い、林床を活用したきのこ・山菜・山野草の生産を開始。県オリジナルのナメコN1号などのきのこ類、ウレイなどの山菜類、ミョウガ・キクイモなどの根菜類を中心に試行錯誤を繰り返し、生産販売に至った。各地の物産展や東京大手スーパーへ

も出荷。

「木もれびのさす里山」における異世代間交流

県南、「木もれび倶楽部」 山本 光子
森林活動によって、県南地域のシニアから不登校児・小中高生を中心に異世代間交流でコミュニケーション力の向上を図っている。社会教育・地域社会の活性化を目指し、自然とのふれあいから元気のある街づくりを支援した活動を行っている。育樹祭・植樹祭へ継続的に参加し、会員及び地域住民など幅広い世代で里山づくりをしている。



特別講演の平子氏

菌床栽培から西会津町を金賞にするために（西会津町におけるきのこを

中心とした地域振興について）

西会津町菌床生産組合 杉原 辰徳

野原 勇一

西会津町は、広葉樹が豊富にあることから、原木しいたけ栽培が盛んに行われてきた。

しかし、輸入の生しいたけの量が増加し、販売単価が安く採算性も悪化したこと、高齢化により規模拡大も困難になってきたことから、菌床栽培を試験的に導入。当初四人でスタートしたが現在は九人になり、きのこの産地化に向けて地域に適した栽培方法の確立を図ろうと、取り組んでいる。



県知事賞を受賞した里の森みらい 薄井さん

アクの弱いわらびの普及について

藤生わらび生産組合 星 光吉

組合では、山を活かし、遊休農地を活用しながら、地域の活性化を図ってきた。

アクの弱いわらびは、平成一五年の県の事業により苗の提供を受けて藤生地区内の遊休農地へ植栽し、増殖を行ってきた。南会津の特産物にするため試食販売会などのPR活動をしてきた。今後さらに特産物として定着するように活動を続けていく。

「こだわり山の幸」による産地化の取り組みについて

こだわり山の幸研究会 山ゆり部会

小林美恵子

齋藤真喜子

菅野 一代

平成一九年度、飯舘村森林組合女性部有志を中心に、女性一〇名でこだわり山の幸研究会山ゆり部会を設立。産地化を目指し、「飯舘村の山の幸を再発見し、つくって、売ることを考えよう」をテーマに、こだわりの栽培法で生産し、少量多品目の山菜やきのこなどを栽培している。加工品の開発や販売ルートの開拓までを視野に入れて、取り組んできた。

檜葉町における「森泉組の活動」

双葉地方森林組合ボランティアの会「森泉組」

飯島 一夫

「森泉組」は平成一六年一月に双

葉地方森林組合の職員五名が林業改良普及指導員の資格を得て、県の森林などの整備ボランティア登録を行ったことを機に立ち上げた森林組合内の任意組織である。森林組合職員、OBが加わり、現在は男性八名、女性四名の計一二名で活動している。

地元や都会の子供たちとの交流、小学生への森林環境学習、親子で参加できる森林教室の開催（幼児の参加）県産材を活用したオリジナルの木工キットの開発などの活動をしている。

市民参加の森づくり活動推進

NPO法人いわきの森に親しむ会

松崎 和敬

平成一三年一〇月設立以来、いろいろな活動を行ってきた中で、健全な森づくりのためには、森林の持つ多面的機能についての理解促進に加えて、木を多く使うための仕組み作りを考えることが重要であることに至った。そこで、平成二二年度から間伐や間伐材利用促進に向け意義づけを取り組むことにした。

健全な森づくりのために市民の意識を醸成。自然観察会や、間伐体験・薪炭作り体験などの自然体験活動、教師との協働作業で森林環境教育支援、さらに間伐材利用の高床式四阿を建設して情報の受発信、交流や木育活動の拠点としている。



高性能林業機械の実習／基幹林業労働者研修

林業労働力確保支援センターだより

未来に向けた

夢のある林業の創造へ

―雇用の安定と定着をめざして―



チェーンソーの講習
／異業種参入促進事業

林業労働力確保支援センターでは、県内林業の持続的かつ健全な発展のため、林業事業体の経営基盤の強化、林業の担い手の確保・育成等をめざし各種事業を実施しています。

平成二二年度に実施している研修や事業などについて、その主な内容を紹介します。

◎高性能林業機械貸付事業 (高性能林業機械のリース)

高性能林業機械の貸付は平成二二年度から実施し昨年四九台、本年度は二二三台を導入する計画です。

機械導入は林業労働者の減少に対応し、現在の作業工程の見直しにもなう機械化の推進、さらに重筋労働の軽減および、若年労働者等の確保を図り、森林が有する多面的機能の維持増進に寄与するものです。

本事業により、県内の森林整備の推進と素材生産の増大に大きな期待が寄せられていると考えています。

◎基幹林業労働者研修

林業に就業し三年以上の現場経験を積み、これから林業の基幹的な担い手として活躍していく人を対象に、七月～十二月にかけて、四〇日間の研修を行いました。

林業に関する専門的な科目の講義、各種林業機械の運転技能の講習、作業道の設計、各種現場の視察等、幅広い内容で行いました。

また前年同様に、高性能林業機械の現地実習を強化しました。研修生

は一九名で、意欲を持って研修に取り組み、全員が「福島県林業作業士」に認定されました。今回の研修で得た知識・技能を活かし、福島県における林業の基幹的担い手として活躍される事を期待します。

◎地域林業雇用改善促進事業 (厚生労働省委託事業)

①相談指導事業

求人・求職情報の提供など求職者に対する相談、労働関係法規、各種制度、具体的事例など事業主に対する相談指導を実施しました。

(林業雇用改善アドバイザー二名配置)

◎対象となる林業事業体・相談指導の内容

林業事業主が作成した改善計画書に対して、県が認定した林業事業体を対象として、巡回指導し、林業就業者の定着指導を行いました。その指導内容は、

- ・改善計画の作成指導
- ・就業規則の作成指導
- ・新規就業者の定着指導。

平成二二年度活動実績 二六〇件

②雇用情報の収集・提供

林業に係る求人・求職に関する情報、雇用改善に資する情報などを収集し、求職者及び林業関係事業主に對してその情報を提供しています。

情報誌の発行予定二回(二〇月、二月)

③委託募集

林業事業体の知名度の不足を補

い、募集人数を多くすることで、求職者へのアピール度を高めるため、他の事業主及び、支援センターと共同して行う改善措置に参加する事業主の委託を受けて、支援センターが募集を行いました。

◎対象となる林業事業体

委託募集届出書が厚生労働省に受理された林業事業体

平成二二年度の実績

- ・折込地域名
- ・折込地域名
- (二部)の地方紙
- ・折り込みチラシ枚数

一五二、二五〇枚

④研修事業

事業主、労働担当者等を対象として雇用管理の改善に関連した講義による研修を実施しました。

○研修の対象者・研修の内容

県内の認定事業体等を対象に経営の向上や雇用管理の改善に関する講演を行いました。

平成二二年度の実績

雇用管理セミナー 一月開催 三名参加

⑤林業雇用改善コンサルタントによる専門的な相談

個別具体的な指導・助言を必要とする林業事業体に対し、人事・労務管理に関する各分野の専門家(社会保険労務士、中小企業診断士、キャリアコンサルタント等)による専門

的な相談を実施しました。

◎対象となる林業事業者・相談の内容
県内の認定事業者のうち各部署から選定し、人事・労務管理等に関する相談を実施しました。

平成二二年度の実績

・認定事業者三社に対して七ヶ月に実施

◎異業種参入促進事業

林業への参入を希望する建設業者等の作業員に対して、森林施業の知識や技術を付与し、林業へ参入する機会を目的とした研修を七月～一月にかけて実施しました。

森林・林業の知識の講義や、刈払機・チェーンソー特別教育を実施しました。

また、下郷町・いわき市で低コスト作業路技術者研修を行い、二三名



低コスト作業路開設研修／異業種参入促進事業

が受講しました。

◎緑の雇用担い手対策事業

林業の担い手の減少と高齢化を改善し、林業の担い手の早期育成を図るため、新たな林業後継者づくりに取り組む林業事業者を支援する研修事業を実施しました。

①集合研修

林業への就業に必要な専門的知識や、技術・技能を習得するための研修を行いました。

七月～一月にかけて、二〇日間実施し、五八名に「修了証」を交付しました。

なお、緑の雇用担い手対策事業は二二年度で終了し、新たに二二年度より、段階的で体系的な人材育成対策事業として、「緑の雇用」現場技能者育成対策事業が実施されます。

◎林業就業支援事業

①第一回目講習

一月～二月にかけて一八日間実施し、県外から参加した二名を含め八名が「刈払機作業従事者安全教育」「伐木の業務にかかる特別教育」「救急法基礎講習」などを受講し、「修了証」を交付しました。

②高校生講習

六月～七月にかけて、県立会津農林高校の森林環境科二年生を対象に実施しました。刈払機・チェーンソーの特別教育を受講後、金山町にある学校林で現地実習を行いました。

◎森林林業ボランティアリーダー育成講座

県民の皆さんが参加する森づくり運動を推進するため、森林整備についての知識や技能安全に関する知識を備え、森林整備ボランティアの中心となる人材を育成する講座を実施しました。

今年度は五名の参加で、刈払機・チェーンソーの特別教育、救急救命法や、宇都宮大学名誉教授の谷本先生を講師に迎え、森林施業の方法・実習を行いました。

◎森林の仕事ガイドンス

全国森林組合連合会主催で全国二カ所で開催され、当支援センターは、平成二二年一月二六日（金）～二七日（土）東京「アキバスクエア」の相談会に参加しました。

会場では、都道府県ごとにブースが設置され、支援センター、森林組合連合会の職員が相談員となり林業就業希望者に対して、当県の林業就業状況内容や雇用の流れなどについて説明をしました。

◎高性能林業機械オペレーター養成研修事業

平成二一年、二二年の二カ年間で計七二台の高性能林業機械の貸付を実施し、その結果、県内での機械の導入数は飛躍的に伸びています。これにともない、効率的な運行・

安全な操作が求められ、事業者の経営改善・労働災害防止をめざした研修会を開催しています。八月に猪苗代町の公社造林地を中心に、延べ一五〇名の参加を得て、機械の保守・点検、安全操作、さらに、最新型機械三台による伐倒、造林、搬出、集積と現場での機械操作を含めた研修会を実施しました。

◎高性能林業機械オペレーター研修
第二回の研修は、一〇月に大玉村で実施し三九名が参加しました。

研修は学科と実地（機械の操作）とし、初日に学んだことを林地にて専門の講師の指導の下に三班に分けて実践しました。現地では機械（プロセッサ、フォワーダ二台、グラップル付バックホウ二台）五台を使い、実際の工程（玉切・積込・運搬・はい積）を行い、研修生は機械使用時の注意点や基本技術等を修得しました。

林業労働力確保支援センターの主な事業を紹介しましたが、これからも、皆様のご理解とご協力をいただきながら、福島県の森林・林業の発展に努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

末尾になりますが、昨年一月に会計実施検査を受け、無事終了いたしました。各事業者及び関係機関の多くの皆様にご支援・ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

平成22年度 林業普及指導員全体研修会開かれる

平成二二年度林業普及指導員全体研修会は、二月四日、県林業研究センター研修本館で開催され、林業普及指導員をはじめ、林業関係者等九〇名が参加した。

相馬雅俊県農林水産部次長があいさつを述べた後、県内八つの普及指導区の代表が、一五分の持ち時間で日頃の普及活動の取り組み状況等を発表した。

集約化施策による森林整備の推進、山菜やきのこの普及促進、カシノナガキクイムシやクマの被害対策など、積極的な取り組みや成果が報告



取り組んでいる活動の発表

され、活発な質疑が行われた。また、全林業普及指導員がそれぞれの普及課題等の取り組みをレポートにまとめて活動報告した。

審査には、堀江隼人県林業振興課長、大高明彦県林業振興課主幹兼副議長、佐藤秀樹林業普及指導員協議会会長、大竹清美県林業研究センター副所長ほか各地区主任があつた。

審査後、大高主幹が講評を述べ、佐藤協議会会長が審査結果を発表した。最優秀賞には星辰也さん(いわき農林事務所)、優秀賞には木村憲一郎さん(県中農林事務所)が選ばれ、



最優秀賞の星辰也さん

木製の賞状が贈られた。

さらに、林業普及指導員永年勤続表彰では、次の方々が表彰された。

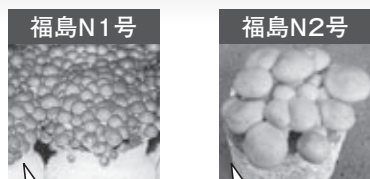
- 一五年 星辰也さん(いわき)
- 一〇年 丹治俊宏さん、小野田義宏さん(県中)、星博一さん、弓田美和さん(会津)、加藤正昭さん(いわき)、上野徳夫さん(森林整備課)、富樫誠さん(県南)

普及活動報告は次のとおりである。取り組みについて

- 「カシノナガキクイムシ被害対策の取り組みについて」
県北農林事務所副主査 佐川 大三
- 「県中地区における間伐の推進―集約化施策を見据えた普及活動―」
県中農林事務所主査 木村憲一郎
- 「県オリジナル品種等きこの普及への取り組み」
県南農林事務所主査 山田 茂隆
- 「会津地域におけるクマハギ被害の現状と対策について」
会津農林事務所主査 渡辺 信和
- 「南会津地方における徳用林産物の振興戦略」
南会津農林事務所主査 益子 利江
- 「相馬地方における森林・林業の再生への取り組み」
相双農林事務所主査 宗方 宏幸
- 「森林整備の推進について―檜葉町における実施事例―」
相双農林事務所富岡林業指導所 副主査 長谷川吉也
- 「集約化施策の実施状況とその検証」
いわき農林事務所 主任主査 星 辰也

きのこで地域を元気に (財)福島県きのこ振興センター

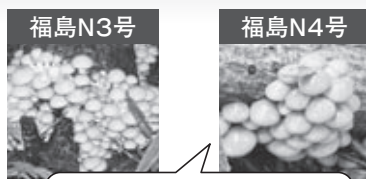
●菌床栽培用ナメコ(登録品種)



安定多収量

大型・滑り少

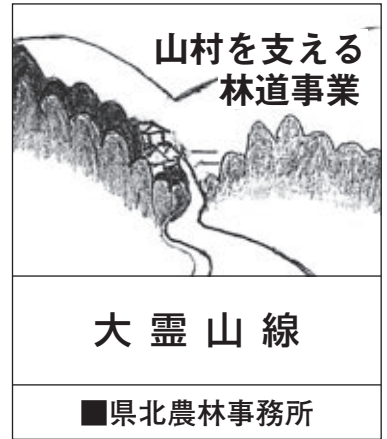
●原木栽培用ナメコ(登録品種)



コナラ原木で安定・多収量
食物繊維、ペクチン様物質豊富

- その他各種種菌
- 菌床
 - ・シイタケ
 - ・ハタケシメジ
 - ・ムラサキシメジ等
- マイタケホダ木
- 栽培資材

〒963-0112 郡山市安積町成田字西島坂7-2 Tel 024-947-2188 Fax 024-947-6926
E-mail:f-kinoko@mtj.biglobe.ne.jp URL:http://www.f-kinoko.org



■はじめに

当事務所は、東側に阿武隈山系、西側に奥羽山脈があり、福島県の北部にある四市三町一村を管内としております。阿武隈山系では集落が点在しているため、集落間をつなぐ道路は多数ありますが、実はその中に林道も数多く含まれています。

一般に「林道」と聞くと、幅員の狭い砂利道を想像される方も多くと思いますが、当管内の林道総延長は五〇八キロメートルのうち舗装済み延長は二〇七キロメートル（総延長の四割）、幅員四・〇メートル以上の林道延長も二二・九キロメートル（総延長の六割）となっていて、地域住民の生活に欠かせない道路として利用されている実態が窺えます。今回ご紹介させていただきたく県管林道「大霊山線」もその一つです。

■路線の概要

「大霊山線」は、伊達市霊山町石田字宝司沢地内を起点とし、同市霊

山町大石字楮畑地内を終点とする計画延長七、三五九メートル、車道幅員四・〇メートルの一級林道です。

当路線は、平成八年度に事業採択となり、平成九年度から工事に着手しました。利用区域面積は五八八平方メートルあり、うち民有林は五七一平方メートル（九七割）を占めています。そのうち人工林は二六二平方メートルありますが、一四一平方メートル（五四割）が四五年生以下の手入れが必要な森林で構成されていて、当路線の開設が森林整備の推進に繋がると期待されています。

当路線の線形は、「霊山」の西側を南北に縦断する形で計画されています。霊山は、国史跡名勝や県立自然公園に指定されていて、南北朝期の遺構等を巡る登山道が整備され、また、周辺には宿泊施設や教育施設などもあつて年間一〇万人を超える利用者が訪れる名勝地になっています。開設後は、霊山一帯へのアクセス向上も期待されています。

■路線の目的

林道開設の目的には、利用区域内にある森林の手入れ（枝打ちや間伐など）を促進させる効果や、伐採した樹木を木材市場などへ運送しやすくする（搬出コス

トを削減する）効果などが挙げられますが、当路線では次のような側面も併せ持つよう計画されています。

- (1) 災害時の迂回路としての役割
当地区では、平成元年の台風一三号により国道一一五号線が長期にわたり通行止めとなった災害に見舞われました。また、付近の生活道路である県道は幅員が狭く、また、連続雨量一二〇ミリ以上になると通行止めになることもあり、降雨等によりたびたび通行が妨げられる状況に追い込まれます。このため、地域住民の方々からは災害時の迂回路として活用できるよう、当路線の開設が強く望まれています。
- (2) 林野火災時の防火機能
当地域では、昭和四六年に大規模な林野火災が発生し、自衛隊に派遣

要請したことがあり、隣接する各町とともに林野火災特別地域に指定されています。林野火災の延焼拡大を防ぐため、当路線では線形を検討する際に、林道と林道敷を幅広く取り、防火帯としての機能を持たせたり、林野火災発生時の消火活動を円滑にできるよう防火用水を設置するなど、林野火災に対する備えを設計に反映しています。

■おわりに

平成二三年度に橋梁一基が完成すれば起点と中間地点が接続され、五、一五九メートル（計画延長の七〇割）の開設が終了します。

今後も地域の方々が活用しやすい林道づくりを目指し、事業を進めて参りたいと考えています。



大霊山線（正面上が霊山）



イベント風景（霊山太鼓の演奏）



森林施業の状況（間伐実施）



素材の価格〈工場着価格〉(11月15日現在)

(単位：m³当り千円)

区分	形量		材質	樹種	中通り地方		会津地方		浜通り地方		県平均		
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	当月	前月差	
一般用材	小	5~9	4.00	並	スギ	8 (8~8)	0	9 (9~9)	0	7 (5~9)	0	8 (5~9)	0
		10~13		並	スギ	12 (11~13)	1	9 (8~9)	0	9 (8~12)	0	10 (8~13)	0
	中	14~18	3.00	並	スギ	14 (12~17)	0	11 (11~12)	0	13 (11~14)	0	13 (11~17)	0
			並	ヒノキ	20 (17~23)	0	(0~0)	-	19 (17~21)	0	20 (17~23)	1	
		6.00	並	スギ	20 (17~21)	1	18 (18~18)	0	16 (16~17)	0	18 (16~21)	0	
			並	ヒノキ	24 (24~24)	0	(0~0)	-	24 (21~27)	0	24 (21~27)	0	
	20~28	3.65	並	スギ	15 (13~17)	1	12 (11~12)	0	13 (12~14)	1	13 (11~17)	0	
		4.00	並	アカマツ	11 (9~13)	0	10 (10~10)	0	11 (10~12)	0	11 (9~13)	0	
		1.80	並		8 (6~10)	0	(0~0)	-	8 (7~9)	0	8 (6~10)	0	
	外材	30以上	10.00	並	米ツガ	22 (22~22)	0	(0~0)	-	24 (24~25)	0	24 (22~25)	0
並				米マツ	25 (22~28)	0	26 (26~26)	0	25 (25~26)	0	25 (22~28)	0	
28以下		4.00	並	エゾマツ	(0~0)	-	(0~0)	-	23 (20~25)	0	23 (20~25)	0	
			並	ベニマツ	27 (27~27)	0	22 (22~22)	0	21 (21~21)	0	23 (21~27)	0	
70~90		8~14	並	ラワン	(0~0)	-	(0~0)	-	(0~0)	-	(0~0)	-	
			並	アガチス	(0~0)	-	(0~0)	-	(0~0)	-	(0~0)	-	
パルプ用材	-	-	並	マツ	(0~0)	-	(0~0)	-	6 (6~6)	0	6 (6~6)	0	
			並	広葉樹	(0~0)	-	(0~0)	-	6 (6~6)	0	6 (6~6)	0	

区分	形量		材質	樹種	会津共販		いわき	
	径(cm)	長さ(m)			当月	前月差	当月	前月差
一般用材	12以下	4.00	並	カラマツ	8 (7~8)	0	9 (8~9)	0
	13~14		並	カラマツ	7 (7~8)	0	8 (7~9)	0
	16以上		並	カラマツ	9 (8~10)	0	11 (10~11)	0

- 注) 1. 前月差の△印は値下りを、*印は前月実績がなかったことを示す。
 2. ()内は各地域の価格幅、()外は各地域の平均的価格を示す。
 3. 一般用材カラマツは工場着価格ではなく、福島県森林組合連合会の会津共販所・いわき木材流通センターの素材市売価格を示す。

一〇月の原木市場への入荷状況は、価格が上昇しているにもかかわらず入荷量の伸びは少なく、前月比一六割増(前年比同率)の二七、七三三立方メートルとなっている。
 販売量については、前月比で一六割増(前年比一割増)の二八、三三九立方メートルとなっている。
 一〇月の価格については、スギ・ヒノキ柱用丸太の前年同月比で一、七〇〇〜一、八〇〇円値上がりしており、強保合である。



伐が遅れて木の高さと林内の暗さが目立つ人工林や、立木と見間違えるほど太いフジヤヤブが行く手を遮る状態

南湖公園に隣接する白河市所有の森林(約二〇〇ha)に南湖森林公園が整備され、昨年の一〇月二三日には開園式が盛大に行われました。
 整備に着手した当初の森林は、間伐が遅れて木の高さと林内の暗さが目立つ人工林や、立木と見間違えるほど太いフジヤヤブが行く手を遮る状態



南湖森林公園がオープン!

県南農林事務所森林林業部 林業課長 菊地 守

白河市には日本最古の公園として有名な南湖公園があります。最古というのは?公園という人為的に改良した空間を庶民にも開放して一緒に楽しむ文化の発祥の地ということでしょうか??
 南湖でのお勧めは水面のボートから眺める松林と桜並木、雪解けの那須連峰と南湖団子ですが、昨秋に新たな魅力が加わったのでお知らせします。
 南湖公園に隣接する白河市所有の森林(約二〇〇ha)に南湖森林公園が整備され、昨年の一〇月二三日には開園式が盛大に行われました。
 整備に着手した当初の森林は、間伐が遅れて木の高さと林内の暗さが目立つ人工林や、立木と見間違えるほど太いフジヤヤブが行く手を遮る状態
 でしたが、市民懇談会を中心とした熱心な議論と、平成一八年から五年の歳月をかけ白河市が森林居住環境整備事業等により整備を進めた結果、親しみやすい素敵な空間となりました。
 アクセスは、南湖公園側に駐車して南湖神社の横を上っていくか、白河第一小学校側の入口にある駐車場に車を置いて歩を進めてください。中央部にある芝生の広場を見下ろす管理棟は、県産木材を積極的に利用した建物で、小団体の休憩、学習用にお勧めの場所です。また、管理棟内の机・イス及びペレットストーブ等は森林環境交付金事業の重点枠を活用したものです。
 インターネットで『南湖森林公園』を検索して季節の見どころやパレットをダウンロードしてから訪れると、一人でも充分楽しめますし、管理棟でスタッフと情報交換するのもお勧めです。
 皆さんも県南地方においでの際は、白河市の南湖公園から南湖森林公園へと足をのばして楽しんでください!!

— 普及指導員通信 —

県オリジナル品種等きのこのPR活動!

■**県南農林事務所**
林業普及指導員 山田 茂 隆

久慈川で行われる水上曳引き大会で有名な埴町の産業祭は、町の一大イベントのひとつです。今年から、町の農産物生産者の様々な取り組みを紹介するパネル展示が行われることになり、埴町でオリジナル品種等きのこの栽培に取り組む、「はなわふるさと物産直売センター組合」のメンバーも、これまでの取り組みを紹介することになりました。

このため、「県オリジナル品種等きのこのを紹介するいい機会!」と、パネル展示と併せて積極的なPR活動を行いました。

多くの方に県のオリジナル品種を知ってもらうため、本物のオリジナル品種をアクリルで固めた標本を展示したほか、生産者をお願いして、発生中のナメコ菌床を持ってきて頂き、菌床からきのこが発生している様子を観察できるようにするとともに、種菌、菌床のパフレットを置き、興味を持った方に対しては積極的に栽培方法や種菌等の購入方法を説明しました。

また、きのこの消費拡大を進めるべく、きのこ振

興センターにきのこの販売を呼びかけたところ、快く協力を頂き、県オリジナルナメコのN2号を含むきのこの販売を併せて実施しました。

当日は、あいにくの雨となりましたが、展示販売は小学校の体育館で行われたため、アクリルの標本を興味津々に眺める子供たちや、菌床から発生するナメコに興味を持ち、パンフレットを手に質問する年配の方など、多くの皆様に県産きのこをPRすることが出来ました。

きのこ販売も、生産者やきのこ振興センター職員が、大型でぬめりの少ないナメコ、N2号の美味しい食べ方を説明すると、「試してみたい!」と買い求める人やお土産用にまとめ買いする人も見られ、用意した約250パックを全て販売することができました。

オリジナル品種が販売されている農産物直売所では、ナメコのN2号やムラサキシメジなどの認知度や人気は高まっているようですが、今回のイベントでは、残念ながら知らない人が多く、更なるPRの必要性を感じた一日となりました。



パネル展示の様子（菌床・アクリル標本）



きのこ販売の様子

相馬地方における提案型集約化施業の取り組み

■**相双農林事務所**
林業普及指導員 宗方 宏 幸

相馬地方における森林資源は、人工林のうち8歳級以上が半数以上を占め、林齢的に成熟期を迎えた森林となっており、さらに新たな需要先として東北電力原町火力発電所での木質バイオマスエネルギー混焼も平成23年12月から稼働が予定されています。

このような状況の中、森林資源の活用を図る上で相馬地方では、いかに集約化施業を進めていくかが課題となっており、提案型集約化施業について森林組合に対し、重点的に指導、支援を行っています。

森林組合が提案型集約化施業を進めるためには、これまでのような担当者個々の取り組みではなく、森林組合全職員が共通の認識を持ち、一丸となって取り組む必要があり、職員の意識改革を促すため、組合長をはじめ全職員を対象にした勉強会を管内の2森林組合で定期的に開催してきました。勉強会では、集約化に取り組む必要性についての意見交換や、他県の森林組合が集約化施業に取り組む中での悩みに

対する解決事例を紹介しながら実施しました。最近では、森林組合全職員間に集約化に対する共通認識が持て、集約化に取り組む意識が芽生えつつあるような手応えを感じております。

また、相馬地方森林組合が提案型集約化施業を計画した地区の森林所有者への説明会開催に対しては、説明会の進め方、提案型集約化施業を行う必要性や今後の作業手順について、事前の打ち合わせを行いながら、説明会の運営を支援しました。

現在、相馬地方森林組合では、説明会を実施した地区において、森林所有者の同意を得ながら現況調査を進めており、今後は、具体的な経営目標を立て、施業提案に係る作業に入り、これからが本番です。普及指導員としてもスキルアップを図りながら、提案型集約化施業の実現に向けたきめ細かい指導、支援を心がけていきたいと思っております。



森林組合との勉強会



相馬地方森林組合との個別打合せ

木連だより

JAS製材品を使いましょう
— 安定した品質・性能を
保証した建築資材 —

1. JAS製品は使用部位別性能資材設計・施工関係者などが利用しやすいように建築物の部材を考慮して品目を区分し、規格を定めているので建築物の各部材、性能に合った資材選択を容易にします。



〈高度な技術で品質保証〉
JAS認定工場・事業所の高度な技術と標準化された品質管理システムが生み出すJAS製品は、設計者、施工者の皆様の期待に応えます。JASマークが表示されている製品は、製造者が責任をもって品質・性能を保証します。
〈定期的なチェックで品質確保〉
JAS製品の安定した品質は、登録認定機関(社)全国木材検査・研究協会)によるJAS認定事業所への監査と、事業所に義務づけられた検査を、定期的に行うことにより確保されています。

(1) 製材JASの認定品目区分

<p>構造用製材</p> <ul style="list-style-type: none"> 人工乾燥 未乾燥 保存処理 機械等級区分 	<p>造作用製材</p> <ul style="list-style-type: none"> 人工乾燥 未乾燥 保存処理
<p>下地用製材</p> <ul style="list-style-type: none"> 人工乾燥 未乾燥 保存処理 	<p>広葉樹製材</p> <ul style="list-style-type: none"> 人工乾燥 未乾燥 保存処理



(2) 製材JASの規格区分

区分	説明	
構造用製材	建築物の構造耐力上主要な部分に使用。	
針葉樹	目視等級区分構造用製材	木材の強度に影響する節、割れ、丸身等材の欠点を目視により測定し、等級区分するもの。
	甲種構造材	主として高い曲げ性能を必要とする部分に使用する。土台、大引、根太、はり、けた、筋かい等。
	構造用I	木口の短辺(厚さ)が36mm未満。及び木口の短辺が36mm以上、かつ、木口の長辺が90mm未満。
	構造用II	木口の短辺が36mm以上で、かつ木口の長辺が90mm以上のもの。
	乙種構造用	主として圧縮性能を必要とする部分に使用するもの。通し柱、管柱、床束、小屋束等。
機械等級区分	機械によりヤング係数を測定し、等級区分するもの。	
造作用製材	敷居、鴨居、壁その他の建築物の造作に使用するもの。	
下地用製材	建築物の屋根、床、壁等の下地に使用するもの。	
広葉樹製材	広葉樹製材の汎用的な規格で、南方産広葉樹と国内産広葉樹とで基準を区分。	

2. 許容応力度の計算が可能
製材のJAS規格では、樹種・等級ごとに「木材の基準強度」を定めています。JAS製品は、住宅の耐震設計のための許容応力度の計算に利用できます。

注：押角は、下地用製材に含みます。
耳付材は、造作用製材、下地用製材、広葉樹製材に含みます。
まくら木は、下地用製材、広葉樹製材に含みます。

(1) 目視等級区分構造用製材に対応した基準強度
目視等級区分された製品には1級=★★★ 2級=★★ 3級=★の等級表示があります。

材種	目視等級	基準強度 (N/mm ²)			
		曲げ		圧縮	
		スギ	ハイマツ	スギ	ハイマツ
甲種構造材 (はり、けた等)	1級	27.0	34.2	21.6	27.0
	2級	25.8	22.8	20.4	18.0
	3級	22.2	17.4	18.0	13.8
乙種構造材 (柱等)	1級	21.6	34.2	21.6	27.0
	2級	20.4	22.8	20.4	18.0
	3級	18.0	17.4	18.0	13.8

(2) 機械等級区分構造用製材に対応した基準強度
機械等級区分された製品にはE70、E110などの等級表示があります。

材種	機械等級	基準強度 (N/mm ²)			
		曲げ		圧縮	
		スギ	ハイマツ	スギ	ハイマツ
機械等級区分製材	E50	24.0	—	19.2	—
	E70	29.4	12.0	23.4	9.6
	E90	34.8	21.0	28.2	16.8
	E110	40.8	30.6	32.4	24.6
	E130	46.2	39.6	37.2	31.8
E150	51.6	48.6	41.4	39.0	

使用用途に応じた乾燥材製品を選べます。

団体のページ

福島水源林整備事務所だより

民主党議員による 水源林造成事業地視察 と意見交換会

水源林造成事業は、水資源をかん養するために重要な役割を果たす私有保安林の中で、機能が低下している森林を、早急にかつ計画的に整備することを目的とする分収造林事業です。

県内では三一の市町村で事業を行っており、県全体の私有保安林の一五割に相当する約一万五千㍓が分収造林契約地となっています。福島市や郡山市といった市部では保安林に対する比率が高く、三分の一以上が水源林造成事業の契約地になっています。

この事業地を、平成二二年一月二二日に民主党の衆議院農林水産委員である石原洋三郎議員と参議院農林水産委員の金子恵美議員が視察しました。

当日は福島市内でも落雷や停電がありJRも運休や遅れが出るというあいにくの天気でしたが、両議員の他に森林労連の河田委員長、岩崎書記長、篠原書記次長、両議員秘書や森林農地整備センターの関係者を加えた総勢二一名の視察団が、福島市町庭坂地区にある事業地に向かいました。

視察対象事業地は昭和四五年度に契約し、八五年間の契約期間を持つ三八㍓の森林です。阿武隈川支流の天戸川の集水域に位置し、水源かん養保安林や土砂流出防備保安林に指定されて、スギやヒ



(独) 森林総合研究所森林農地整備センター
福島水源林整備事務所

ノキ、アカマツ等が植栽されています。事業地に着いた頃は稲光を伴う強い雨が降り続く状況でしたが、自前の長靴等で完全装備した両議員は勇躍森林内に分け入り、利用間伐の時期を迎えた四一年生のスギ林を視察しました。

林内では林床植生の様子や、裸地の三倍の水を染み込ませると言われる森林土壌の様子を、地面を掘り下げて観察し水源かん養機能を確認しました。

また、胸高直径や樹高測定、林分材積の算出などの森林調査手法を見聞しました。議員からは「なぜ戦後のはげ山の緑化にスギが選ばれたか?」「広葉樹林と針葉樹林の水源かん養機能の違い」「野生動物と森林の関わり」「下流域での水利用」などについて熱心な質問が出されました。

はげ山の早期緑化や木材資源の活用等の観点でスギが選ばれたことや、針葉樹の水源かん養機能は広葉樹に比べて遜色が無いことなどをお答えしました。

また、町庭坂地区における水利用については、事業地が庭塚北部簡易水道の取水井戸の後背森林と



荒天の中、林内の状況を視察する両議員



意見発表をされたみなさん



意見を傾聴する両議員ほかのみなさん

して四集落に水を供給し、農業用水の志田堰や庭坂上堰の後背森林として地域の水田や畑、果樹園の灌漑に利用されていること、さらには水力発電所の集水域森林として水の供給を行っていることを説明しました。

降りしきる雨の中、事業地での視察は一時以上続きましたが、その後会場を室内に移して意見交換会を開催しました。意見交換会には川内村の遠藤村長や福島県北森林組合の加藤組合長、渡邊常務、福島森林管理署の中山署長も加わって、水源林造成事業の役割や森林・林業の実情などについて話し合いが行われました。

石原議員からは「大雨の中で事業地視察を行ったが、スギ林に入った時の雨の様子やフカフカな林内を歩いて水源かん養機能を実感した。山に雨が降ってもまづ保安林の森林が吸収し、次に治山ダムが受け止めて土砂崩れ災害を防ぐ仕組みも目の当たりにした。雨の中の視察だったがゆえに、かえって水源のかん養や治山水の原点を見た思いである。」との挨拶をいただきました。

金子議員からは「農林水産委員として森林林業再生プランに関わり、森林林業を再生させなくてはいけないと痛感している。本日、水源林造成事業の林内に立つてみて、人の努力が水源をかん養することを足下から感じた。課題も多しと思うが解決の方法を模索し、民国連携等も進めながら効率良く森林を整備する仕

組みを築いていきたい。」との挨拶をいただきました。

遠藤村長は「昭和三六年当時、荒廃した村有林を早急に復旧するため、村営では造林できない奥地の箇所などについて水源林造成事業で整備を進めた。村には水道が無く井戸水を利用しているが、村内公有林の二割を占める水源林造成事業が暮らしを守ることである。水源林造成事業は多くの雇用も生むが、安定した雇用を確保し、地域に住む人の営みとして林業が成り立つように力添えをお願いしたい。」と述べられました。

加藤組合長や渡邊常務からは「森林所有者の高齢化や後継者の分散化が進む中で、公的な森林整備システムである水源林造成事業を守って貰いたい。また、造林者として事業に加わる森林組合の活動を「員外利用」と切り捨てないで貰いたい。」と現場の切実な意見が寄せられました。

また、中山署長からは、効率的な森林整備を進めるための一環である民国連携について福島県内の取り組み状況が報告されました。

その後、森林組合の員外利用は全否定ではなく、組合員のための活動を確保した上で取り組む必要があるという意見や、公的な森林整備のあり方、良質な林業労働力の後継者育成などについて活発に意見交換が行われました。

最後は時間が無くなり意見交換を打ち切るような形になりましたが、参加者一同、森林林業が置かれる現状を理解し今後の国政に反映させて頂くことを願って散会しました。

その後、石原議員は新幹線の出発一〇分前に福島駅に滑り込んで上京され、金子議員は講師として講演会場へ向かわれました。

公務多忙の中でタイトな時間設定となつてしまいましたが、実り多い事業地視察及び意見交換会でありました。



「暑と寒」同居の一年

昨年是一年を表す漢字に「暑」が選ばれるなど猛暑の一年で、熱中症により死者も出た。また、野菜や魚介類も不作・不漁となり、価格が高騰して国民生活に大きな打撃となった。

その暑さを忘れかけた矢先にクリスマス寒波が襲い、会津地方を中心に降雪が続く。四九号国道の会津坂下町・西会津町間が二五日から二六日の二日間にわたり通行止めになった。この影響で乗用車など約三〇〇台が雪の中で一夜を明かす事態となり、この様子がテレビ等で全国に流れたため、国道を管理する国の除雪への対応が話題となった。昨年は、一年に『暑』と『寒』の両方を体験したが、自然の脅威になす術もなかった。ところで、気象庁が東京都の温暖化を、二二世紀初頭の一〇年間と二〇世紀初頭の一〇年間とで比較したデータを発表した。記録によると「猛暑日(気温三三度以上)」は二〇世紀初頭の五〇倍に達し、「冬日(最低気温が氷点下)」は二五分の一に激減したとある。

この現象は地球温暖化に都市化による「ヒートアイランド現象」が加わり、気温を押し上げたと分析しており、地球温暖化が確実に進んでいる事を記録が明解に物語っている。蛇足だが、暑さで有名な福島市の昨年一年の猛暑日は二四日間で過去最多とのこと。

話は変わるが、今年も元日に行われた三春町西方の水かけ祭りを皮切りに、県内の祭りや行事の撮影を始めた。重ね着やカイロなど例年以上に防寒対策が必要で、今までとは一味違う作品づくりへ淡い期待を寄せているが、家族の心配は予想以上のものである。昔から「小寒の水、大寒に解ける」と言われ、その大寒が過ぎ、二月四日の立春から暦の上では春だが、寒さのためか郡山市内で鳥インフルエンザが発見され、県や市町村などが予防に全力で取り組んでおり、大きな被害に発展しないよう祈っている。

近年、孤独死や無縁社会という言葉が聞かれ、出版物も出たが、高齢化が確実に進行する日本では、家族や近隣関係を豊かにする取り組みが喫緊の課題であり、政治や行政は国民生活を直視し、就職難の解消や安心できる環境の整備に万全をと願っている。

佐藤微風

表紙の横顔



炭焼きに生きる

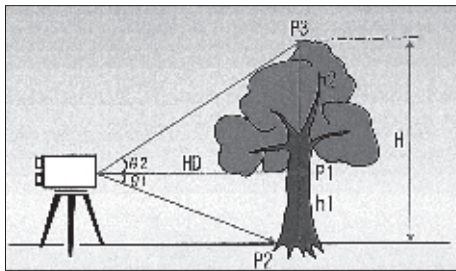
第7回ふくしま森林・林業写真コンクールで佳作となった斉藤茂樹さん(郡山市)の作品。

編集

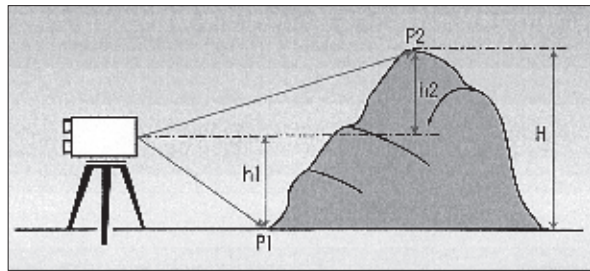
福島県内四森林管理署
福島県林業協会
福島県森林組合連合会
福島県木材協同組合連合会
福島県緑化推進委員会
福島県農林種苗農業協同組合
福島県林業公社
森林総合研究所福島水源林整備事務所
福島県林業協会(福島市中町五番一八号) 協
福島市中町五番一八号 林業協会(館内)
発行人 陽光社印刷株式会社
発行 渡辺卓
発行人 陽光社印刷株式会社
(定価 六三円)

高さ測定

1. 樹木の様に比較的まっすぐな場合

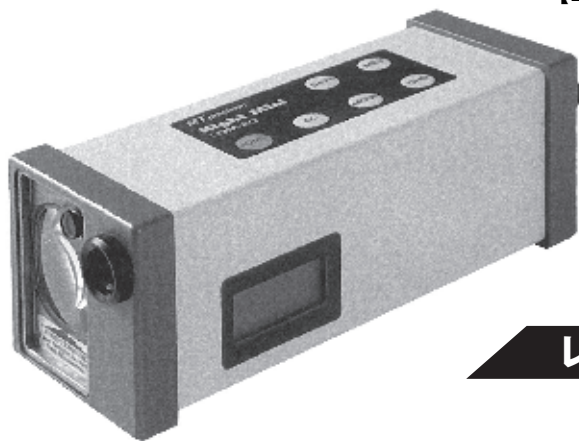


2. 堆積物等の山なり形状の場合



【LDM-20 仕様】

測距範囲	反射板 無30m 有300m
測距精度	± 5mm
傾斜センサー分析能	0.1
測定	高さ・水平距離・斜距離
寸法	W64・H64・D180
重量	650g
付属品	ソフトケース・反射板・取説 RS232Cケーブル・EXCEL取込ソフト



LDM-20

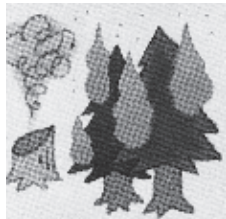
レーザーハイトセンサー「ハイト mini」

株式会社 福島測機

福島市渡利山ノ下前37-2 TEL024-523-1706 FAX024-523-1704

備えのパートナー 森林国営保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



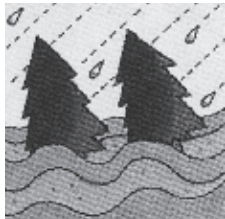
1 火災

山火事で受けた損害



2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



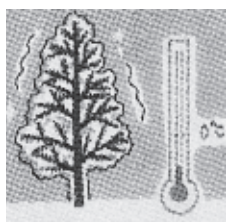
4 雪害

大量積雪による幹折れ、根返りなどの損害



5 干害

乾燥による枯死などの損害



6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《ご相談・お申し込みは》

◆森林組合

◆森林組合連合会

福島県農林水産部森林整備課

☎ 024-521-7430

イワフジのプロセッサ

GP-35V プロセッサ

IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.

シンプルと耐久性を迫及したプロセッサ



Simple Processor
MODEL : GP-35V



- 高耐久性を迫及したフレームとトンク
- 大容量ソーモータの採用による優れた切断力
- カッタ押し付けはシンプルなスプリング式
- 手元のノブスイッチで全ての操作が可能
- 強力な油圧モータおよび保持力によるパワフルな送材力
- 大きなトンクによる効率的なグラブ作業
- 高速コンピュータ GP-7 による精度の高い安定した測尺
- 皮剥けを防止するガイドローラ付トンク

ランニングコストに優れたシンプルプロセッサ

林業機械の総合メーカー

- ・ハーベスタシリーズ
- ・グラブリングシリーズ
- ・スイングヤーダシリーズ
- ・木寄せウインチシリーズ
- ・フォワーダシリーズ
- ・プロセッサシリーズ
- ・ラジキャリアシリーズ



イワフジ工業株式会社

北関東支店 〒969-1149 福島県本宮市本宮万世11-7
TEL 0243-34-5440 FAX 0243-34-5442

イワフジが開催する「高性能林業機械のメンテナンス研修」受講生募集中!
詳しくは当社ホームページをご覧ください www.iwafuji.co.jp

Yashima
豊かな緑を次代へ

自然との調和

私達は、地球的視野に立ち、つねに進取の精神をもって、時代に挑戦します。
皆様のご要望にお応えする、環境との調和を図る製品やタイムリーな情報を提供し、全国から厚い信頼をいただいております。

**野生動物から大切な
植樹木を守る**

ツリーセーブ
ヤシマレント

盗みされ防止

ハチノックL (網隠し)
ハチノックS (携帯用)

**大切な日本の松を守る
ヤシマの林業薬剤**

ヤシマスマイバイン乳剤
ヤシマスマイバインMC
グリーンガードエイト
パークサイドF
ヤシマNCS
モリエートSC
マツグリーン液剤2

くん蒸用生分解性シート

ちゅらシート (茶・白)
NCSシート (透明)
与作シート (茶・白)
(折りたたみ式
専用キャリアバック使用)



ヤシマ産業株式会社

本社 〒104-0045 東京都中央区築地1丁目9-6 アロア築地ビル2F TEL.03-5565-3161(代) FAX.03-5565-3164
東北営業所 〒981-3133 仙台市泉区泉中央3-10-3-202 TEL.022-771-6681 FAX.022-771-6682

効率良く快適に! 手持ち作業から大型作業まで充実のラインナップ。

機器はゼノアから

排気量 **18.3cm³**

世界最小・最軽量、2.2kgの手のひらサイズ



G2000T **EZ-START**
20cm(8インチ)・SP ¥66,675(税込)
20cm(8インチ)・CV ¥72,765(税込)

排気量 **40.1cm³**

さまざまな用途に対応、本格プロ仕様シリーズ



G4211EZ **EZ-START**
40cm(16インチ)・SP ¥135,660(税込)
45cm(18インチ)・SP ¥137,865(税込)
40cm(16インチ)・H ¥135,660(税込)
45cm(18インチ)・H ¥137,865(税込)

使いやすさを
追求したハンドルと
思いのアクセルワークが
可能なトリガーレバー。



BC2711DW1-EZ
・防振ハンドルブラケット
・トリガーレバータイプ
チップソー ¥79,380(税込)
笹刈刃 ¥78,330(税込)

ハスクバーナー・ゼノア(株)福島県代理店
(有)うねめ林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108の1